

マクロ経済分析

担当者 塩田 眞典／西嶋 淳

開講時期 前期

単 位 2

●講義の概要

マクロ経済学はミクロ経済学とは異なり、国内総生産、消費、投資、貯蓄など集計された諸変数間の因果関係を分析することを意図する。マクロ経済システムは、一般的には、マクロ的諸変数の相互依存の体系として定義できるが、具体的なある時代および状況の下では、特定の諸変数間の因果関係に着目し、分析することによって、その時代・状況に固有の経済的課題を発見し、その解決法を提示することが可能となる。

●講義の到達目標

経済成長や景気変動が生じる原因を理解できるようになり、政府による様々な政策の意図やその効果の程を予測できるようになる。

●講義計画

- 第1回：マクロ経済学とミクロ経済学
- 第2回：経済循環
- 第3回：GDPについて（所得会計）
- 第4回：消費関数
- 第5回：投資関数
- 第6回：均衡所得の決定
- 第7回：乗数理論
- 第8回：労働市場分析
- 第9回：労働市場と財市場
- 第10回：失業問題をめぐって ①古典派の解釈
- 第11回：失業問題をめぐって ②ケインズの解釈
- 第12回：貨幣の機能と流動性選好
- 第13回：LM曲線
- 第14回：IS曲線
- 第15回：LM・IS分析、まとめ

●成績評価基準と方法

授業テーマへの取組み状況、発表、レポートによる総合評価

●テキスト又は参考文献

—参考文献—

- ・吉川 洋『マクロ経済学』現代経済学入門シリーズ 岩波書店
- ・中谷 巖『入門マクロ経済学』日本評論社
- ・N.グレゴリー・マンキュー著 足立英之 他訳『マクロ経済学Ⅰ』東洋経済新報社
- ・小野善康著『景気と経済政策』岩波新書

●受講上の留意点

授業およびディスカッションへの積極的参加を望む。